











特別寄稿 総輸出実績が6%も増進 目が離せない異常気象変動

パラグアイ在住 坂本邦雄



発展する首都アスンシオンの町並み (By FF MM (Own work), via Wikimedia Commons)

パラグアイの輸出実績は8月末現在、再輸出部門の成長の弾みで6.1%の増進を見た。同じく、輸入も内需の伸びにより2.1%の増加を示した。これらの結果で、わが貿易収支は赤字である。パラグアイ中央銀行が発表した8月末の対外貿易に関する報告書によれば、輸出金額は8.1億60万ドルに達し、これは昨年度同期比累計額に押し上げ、1%の増加率である。この増加は、同中銀の分析に基づけば、主に再輸出部門の37.1%の増進に依存するもので、次に工業製品の輸出に続いて大豆種子および牛肉のそれが続く。ただし、輸出製品の量・ポ

キーラ産業による輸出は2億6970万ドル、すなわち39.4%増の実績・シェアを占めた。他方、輸入面では73億8070万ドルで、昨年度に比し21.5%の増加で、8月度に限っては前年同期比10億ドルの増差額だと、中銀の資料は指摘している。そのうち最も目立った輸入品は、乗用車と貨物輸送用の車種。その他となっている。輸入品は別して、消費財・半耐久財および資本財で、パーセンテージにして、それぞれ25.8%、20.9%と28.7%の割合の増加であった。同時に、観光制度による輸入は5.6%の増加を記録し、そのうちで資本財とみなされるのは36.5%で、あとの63.5%は国内消費財であった。これらの結果、パラグアイは昨年度よりも低額ではあるが、72億900万ドルの黒字貿易収支を保っている。

この様な状況下において、隣国の農産物の導入に際する価格の影響は、いかなるものかのABC紙の取材に対して、MAGのリオ・レオン農産物部長は、主にそれら食料産物は世界のグローバル市場、ミシオネスやチャコ各州からの導入に依存する。特に変わった現象は生じないであろうとの意見であった。一方、皮肉もわがパラグアイでは雨量不足で、例えば大豆の時期付けが多少は遅れたりしている。ただし、差し当たりのところ、アルゼンチンの水害問題は、さしてわが国に影響はしないであろうとレオン次官は語った。

「共同」消費者庁は13日、敬老の日を前に高齢者の転倒や転落事故に注意を呼び掛けた。東京都消防庁によると、2015年までの5年間に都内で転倒・転落した65歳以上の搬送者は計約25万人に上り、約4割が入院必要と診断された。高齢になるにつれて重傷化しやすい傾向もある。消費者庁の担当者は「長年暮らした環境でも、体の衰えで事故のリスクが高まる」と指摘した。

「共同」消費者庁は13日、敬老の日を前に高齢者の転倒や転落事故に注意を呼び掛けた。東京都消防庁によると、2015年までの5年間に都内で転倒・転落した65歳以上の搬送者は計約25万人に上り、約4割が入院必要と診断された。高齢になるにつれて重傷化しやすい傾向もある。消費者庁の担当者は「長年暮らした環境でも、体の衰えで事故のリスクが高まる」と指摘した。

パラグアイの輸出実績は8月末現在、再輸出部門の成長の弾みで6.1%の増進を見た。同じく、輸入も内需の伸びにより2.1%の増加を示した。これらの結果で、わが貿易収支は赤字である。パラグアイ中央銀行が発表した8月末の対外貿易に関する報告書によれば、輸出金額は8.1億60万ドルに達し、これは昨年度同期比累計額に押し上げ、1%の増加率である。この増加は、同中銀の分析に基づけば、主に再輸出部門の37.1%の増進に依存するもので、次に工業製品の輸出に続いて大豆種子および牛肉のそれが続く。ただし、輸出製品の量・ポ

パラグアイの輸出実績は8月末現在、再輸出部門の成長の弾みで6.1%の増進を見た。同じく、輸入も内需の伸びにより2.1%の増加を示した。これらの結果で、わが貿易収支は赤字である。パラグアイ中央銀行が発表した8月末の対外貿易に関する報告書によれば、輸出金額は8.1億60万ドルに達し、これは昨年度同期比累計額に押し上げ、1%の増加率である。この増加は、同中銀の分析に基づけば、主に再輸出部門の37.1%の増進に依存するもので、次に工業製品の輸出に続いて大豆種子および牛肉のそれが続く。ただし、輸出製品の量・ポ

「共同」消費者庁は13日、敬老の日を前に高齢者の転倒や転落事故に注意を呼び掛けた。東京都消防庁によると、2015年までの5年間に都内で転倒・転落した65歳以上の搬送者は計約25万人に上り、約4割が入院必要と診断された。高齢になるにつれて重傷化しやすい傾向もある。消費者庁の担当者は「長年暮らした環境でも、体の衰えで事故のリスクが高まる」と指摘した。

「共同」消費者庁は13日、敬老の日を前に高齢者の転倒や転落事故に注意を呼び掛けた。東京都消防庁によると、2015年までの5年間に都内で転倒・転落した65歳以上の搬送者は計約25万人に上り、約4割が入院必要と診断された。高齢になるにつれて重傷化しやすい傾向もある。消費者庁の担当者は「長年暮らした環境でも、体の衰えで事故のリスクが高まる」と指摘した。

HOTEL MONTE REAL RESORT Lazer, Diversão e Alegria para sua Família ÁGUAS DE LINDÓIA Reserve já: FERIADO 12 OUTUBRO 9 PISCINAS, 3 AQUECIDAS E COBERTAS, Garagens Cobertas, 4 Saunas, 4 Quadras de Tênis, 2 Quadras de Squash, Sala de Ginástica, Quadras de Vôlei, Basquete, Futebol de Salão e Peteca, Salas de: Pebolim, Ping-Pong, Snooker, Cartão, Leitura e Estar, 2 Restaurantes, Bar "Pub-Ínglês, Equipe de Recreação, Play-Ground, Música ao Vivo, Apartamentos com Instalações Completas, Vista Panorâmica da Praça projetada por Burle Max. Reservas: São Paulo - Tel.: (11) - 2626-3321 - (13) 2191-0318 - (17) 2786-0061 (19) 4040-4216 - (21) 3005-4048 - (31) 2626-4232 - www.montereal.com.br

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA Admite-se estagiário(a) 研修生募集中 (男女) 寝ちがい、首・肩・腕の痛み、腰痛、ギックリ腰、坐骨神経痛は 和泉 整 法 法で WA NYU SEI TAI SADAKAZU NAKATA PhD CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE TEL: (11) 5571 - 4113 / (11) 5083 - 6756 Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

日本移民の為に生涯を捧げた苦勞の歴史 上塚周平の生涯 História do UETSUKA SHUHEI R\$ 30,00 ポルトガル語版

ニッケイ新聞社 発刊の書籍 水野龍 “RYO MIZUNO” 移民事業の先鞭を付け ブラジルをこよなく愛した 水野龍の伝記 R\$ 35,00 ポ語版に日本語を併記

21日(木)の NHK 00:00 ニュース 00:20 サラサシ「シーズン7 第16回」 00:45 連続テレビ小説「ひよっこ」(14) 01:10 旅するアラン(第2回) 01:35 ランスマー一年の園になつて(第2回) 02:00 趣味どきっ!「プロの知恵でカラダをベジッ」 02:25 Journeys in Japan (7

20日(水)の NHK 00:00 ニュース 00:20 サラサシ「シーズン7 第16回」 00:45 連続テレビ小説「ひよっこ」(14) 01:10 旅するアラン(第2回) 01:35 ランスマー一年の園になつて(第2回) 02:00 趣味どきっ!「プロの知恵でカラダをベジッ」 02:25 Journeys in Japan (7

私「青年隊の妻であつてほんとに良かった」としみじみとその有難さを感じる。私は「青年隊の妻であつてほんとに良かった」としみじみとその有難さを感じる。私は「青年隊の妻であつてほんとに良かった」としみじみとその有難さを感じる。

自分史 わが移民人生 おしどり米寿を迎えて 山城 勇 (60) Aさんは毎週土曜日には私たちのパンカへ野菜を買いに来るのです。底抜けに明るい彼女の性格は誰もが好感を持つタイプで、私も大へん親しみ易い方だと直感してはいたが、それに加えて彼女の主人もまた青年隊であることと云うことで二人の親しさはますます増すし、今でも夫婦仲のよさを伺い知ることが出来ます。

# 肋骨折れても心は折れず

## JICA初の琉球芸能指導者

### 元体育教師・高山せい子さん

JICAシニアボランティアとして初めて、琉球芸能の指導者が当地に派遣された。那覇市出身の元高校体育教師、高山せい子さん(65)だ。2016年6月から2年間、伯国中にあ



ブラジル沖縄県人会サンマテウス支部の会で行われた高山せい子さん(前列中央)の慰労会の様子

高山さんは幼いころから琉球舞踊に親しみ、高校の体育教師となつてからは授業で舞踊を教えてきた。島袋流千尋会で琉球舞踊を25年間指導し、指導許可も持つ。三線は野村流。古典保存会で12年間、琉球太鼓は6年間学んだ。

イサー八村の踊り比較研究、教育学の修士号を取得した。学問的な見地から琉球芸能を理解している点が特徴的だ。シニアボランティアを志したきっかけは、高校時代の友人を米国に訪ねた際、郷土芸能の普及活動を見て感動を受けたから。『世界のウチナンチュ大会』で各県系人の文化継承の取り組みを知り、「自分も協力したい」という思いが募った。か

県人会本部のある聖市に拠点を置き、8月18日現在までに、スザノ市などの聖市近郊都市からロドリノ、カボネロ、グランドなどの遠隔地まで計20カ所の県系団体を訪れた。なかでもスザノ市では県人会婦人部に於て週2回、2〜3時間の舞踊指導を行なう。指導を受ける松堂初子さん(78)、嘉手納は、「先生はとても親切。みんな感謝しています」と語す。17年6月には、護身術教室の体験中に肋骨を折った。医者からは全治3カ月、安静3週間の診断が下されたが、「JICA隊員としての任務を果たさなければ」との責任感から、骨折から2週間後のスザノ市で開行した。ロドリノ市での舞踊指導で琉球舞踊を披露した。

# 大耳小耳

高山さんの派遣は、ブラジル沖縄県人会からの要請を受けて実現した。他の県系会もJICAに派遣希望を申し出ている。高山さんは「派遣後も折り返しを過ぎ、8月22日から9月25日まで健康診断を兼ねて一時帰国。活動に感謝の気持ちを込めた慰労会が各地で催され、15日には沖縄県人会サンマテウス支部の会(山田孝由会長)が行った。同会の教室に参加した比嘉光子さん(81)、中城村は「普段あまり家から出ない高齢の人も先生の教室があると集まってくる。ウチナンチュ(沖縄方言)での指導はとも親しみやすく、感謝の気持ちでいっぱいだった」と語る。

20回目となる今年度は、来年1月まで滞在する予定で、その間30回以上のコンサートに出演するほか、コンテストの審査員も務める。既に昨年の出演数は300回以上を数えるという。高山さんがオペラ歌手を志すようになったのは、高校3年生の時。結核にかかり就職先が決まっていたが辞職し、6カ月の休養生活に入った。その時、ラジオで聞いたイタリアのオペラ歌手の高音に魅了されたという。高齢になるほど高音は出にくくなるが、田中さんは高音に強いこだわりを持ち、テノール一本で歌い続ける。「20代は心臓機能を100%とすると、70代では60%と言われる。年と共に衰えるが、自分の年齢に合わせた声の出し方を保ち、高音を保つ」と語る。

オペラ「カルメン」でカルメンの相手役ド・ホセを演じた際もテノールで歌い上げた。その時のカルメンとドン・ホセはなんと52歳の年齢差。「若い女性に引けを取らない演技ができました」と笑う。

10月14日には琉球芸能指導者の「抒情歌を楽しむ会」で無料のコンサートを行なう。「今年度は80歳で大きな節目。自分が作っていたものを、今後は私も料理に参加します」として来場を呼びかけた。

問い合わせは同センター(11・3207・5476)まで。

## 御年80歳、20回目の来伯

### オペラ歌手の田中公道さん

オペラ歌手の田中公道さん(80、島根)が先月17日から恒例の伯国ツアーのため、妻の宏子さんと共に来伯している。

出となったため、用意していた食事や売店出品物はほとんど完売し、担当者からは嬉しい悲鳴が上がった。また、超大型の出品数も少なく、あつという間に完売した。田中さんは山桜のほか各種つじ、藤、シヤクナゲ、金木犀、紫木蓮、コデマリなどが咲き乱れ、豪華な来場者の目を惹きました。

田中さんは「オペラ歌手の高音に魅了された」と語る。高齢になるほど高音は出にくくなるが、田中さんは高音に強いこだわりを持ち、テノール一本で歌い続ける。「20代は心臓機能を100%とすると、70代では60%と言われる。年と共に衰えるが、自分の年齢に合わせた声の出し方を保ち、高音を保つ」と語る。

問い合わせは同センター(11・3207・5476)まで。

## モス住 茶の湯や剣道、原爆講演も

ラモス住文化協会(会長、尾崎弘孝)が、『第19回モス住』を3日、サンタ・カタリーナ州フレイ・ロジェリ市で開行した。当日は雨天に恵まれ、フロリアノポリス、ジョインVILLE、シヤベコなど州内各地から大勢のバスが詰めかけ、来場者

約4千人を記録した。昨年は州政府から助成金がかつた中止となったが、今年はラモス出身の川道健さん(イビウナ在住)の協力により、大型テントとドーム型テントを無料で借り受け、州からの助成金無しで開催された。開会式に先立ち、会場内の観光物産館八角堂で木村総領事と小太郎会メンバー

木村総領事は、「モス住は茶の湯の美演と試飲、剣道場内では生け花や日本の伝統工芸品などが展示され、書道の実演販売も行われた。八角堂では原爆被害者であり、広島原爆資料館より寄贈された原爆ボスターが展示された。予想を大きく上回る人

問い合わせは同センター(11・3207・5476)まで。

ラモス住文化協会(会長、尾崎弘孝)が、『第19回モス住』を3日、サンタ・カタリーナ州フレイ・ロジェリ市で開行した。当日は雨天に恵まれ、フロリアノポリス、ジョインVILLE、シヤベコなど州内各地から大勢のバスが詰めかけ、来場者



木村総領事と小太郎会メンバー

約4千人を記録した。昨年は州政府から助成金がかつた中止となったが、今年はラモス出身の川道健さん(イビウナ在住)の協力により、大型テントとドーム型テントを無料で借り受け、州からの助成金無しで開催された。

開会式に先立ち、会場内の観光物産館八角堂で木村総領事と小太郎会メンバー



妻宏子さんと共に

田中さんがオペラ歌手を志すようになったのは、高校3年生の時。結核にかかり就職先が決まっていたが辞職し、6カ月の休養生活に入った。その時、ラジオで聞いたイタリアのオペラ歌手の高音に魅了されたという。高齢になるほど高音は出にくくなるが、田中さんは高音に強いこだわりを持ち、テノール一本で歌い続ける。「20代は心臓機能を100%とすると、70代では60%と言われる。年と共に衰えるが、自分の年齢に合わせた声の出し方を保ち、高音を保つ」と語る。

田中さんは「オペラ歌手の高音に魅了された」と語る。高齢になるほど高音は出にくくなるが、田中さんは高音に強いこだわりを持ち、テノール一本で歌い続ける。「20代は心臓機能を100%とすると、70代では60%と言われる。年と共に衰えるが、自分の年齢に合わせた声の出し方を保ち、高音を保つ」と語る。

問い合わせは同センター(11・3207・5476)まで。

Bottom row of advertisements including '南米神宮', 'Shiatsu 指圧・整体・針灸', 'BANCO SUMITOMO MITSUI', 'SERRA NEGRA SP', 'VALE DO SOL', and 'MIZUHO Tailor & Fashion'.

